

展覧会 Exhibition

2025年3月15日(土) — 5月6日(火)

(前年度より継続)

【企画展】

田村文雄版画展 一虚が実を支配する一

小諸市出身の版画家・田村文雄(1941～)の制作した非日常的な物語性が感じられる作品を紹介します。

【コレクション展I】

「ふしぎ」な美術

よく見るとふしぎなところがある作品やよくわからないモチーフを表現した作品、抽象的な表現で構成される作品を展示します。作家が作品に散りばめた「ふしぎ」を、想像しながら鑑賞しませんか？

【コレクション展II】

新・収蔵品展 一令和5年度収蔵一

令和5年度に新たに収蔵した作品を初披露します。



田村文雄《風の粧ひ IV》
1985年
(女子美術大学美術館蔵)

2025年5月17日(土) — 6月22日(日)

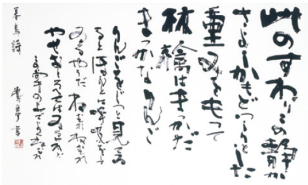
【企画展】

新佐久市誕生20周年記念事業

佐久市立近代美術館・佐久市立天来記念館連携企画

比田井天来とその流れ

北佐久郡協和村片倉(現 佐久市協和)出身の書家・比田井天来(1872-1939)は、日本の近代書を切り開いた書家として知られています。当館と天来記念館の収蔵品から、天来とその流れを汲む書家たちの作品を紹介します。



金子國亭《薄暮ノ祈り 山村暮鳥詩》1978年

【コレクション展】

近代日本画から現代の日本画へ

一日本美術院再興110周年を記念して一

日本美術院に所属する作家たちの作品から、近代日本画から現代の日本画への歩みを概観します。

2025年7月19日(土) — 8月31日(日)

【企画展】

新佐久市誕生20周年記念事業

佐久平の美術展40回記念

「佐久平の美術展」の作家たち

佐久平の美術展は美術制作を愛する方の公募展として昭和59年から始まり、令和7年度で40回を数えます。過去の出品者には現在美術家として活躍している作家もいます。この展覧会に関わってきた作家の作品を展示し、これからの佐久の美術を展望する展覧会です。



遠藤彰子《帰らざる日》1989年

2025年9月13日(土) — 11月3日(月・祝)

【企画展】

佐久地域ゆかりの作家 塩川高敏

佐久地域ゆかりの作家・塩川高敏(1948-2017)の郷里で初となる回顧展です。代表的な「浮游」シリーズをはじめ、小学生で描いた油彩画から晩年の大作まで、その活動の軌跡をたどります。



塩川高敏《浮游》1993年 (個人蔵)

【コレクション展】

水辺の風景

佐久市立近代美術館コレクションの中から水辺や海などをモチーフにした作品を紹介します。さまざまな作家による「水」の表現をお楽しみください。

2025年11月22日(土) — 12月14日(日)

【公募展】

ひだいてんらい しょうきん

第14回 比田井天来・小琴顕彰 佐久全国臨書展

2026年1月4日(日) — 1月25日(日)

【公募展】

第40回 佐久平の美術展

同時開催 ●佐久平の美術展 第39回受賞者展

2026年2月7日(土) — 2月23日(月)

【公募展】

ひなたゆたか あや

第21回 佐久市児童生徒美術展 日向裕・綾 美術コンクール

同時開催 ●第21回 佐久市児童生徒写生大会作品展

※「佐久平の美術展」は8月上旬、「日向裕・綾美術コンクール」は11月上旬から応募要項の配布を予定しています。

2026年3月14日(土) — 5月6日(水)

【コレクション展I】

動物たち大集合! 一美術の中に息づくいきもの一

動物をモチーフとした作品には、写実的に表現したもの、作家が動物に対する感情を投影して制作したものなど様々あります。作家ごとに異なる動物に対する眼差しや表現を味わってみませんか？

【コレクション展II】

特集: 平山郁夫

当館の収蔵品から平山郁夫(1930～2009)の作品を紹介します。

【コレクション展III】

新・収蔵品展 一令和6年度収蔵一

令和6年度に新たに収蔵した作品を紹介します。



橋本明治《トレドの丘》
1964年

開館時間

Opening Hours

9:30～17:00

休館日

Closed Days

月曜日(祝日の場合開館)、祝日の翌日(土・日曜日を除く)、年末年始、展示替え期間等

観覧料

Admission Fee

- 一般: 520 (410) 円
- 学生: 410 (310) 円
- 18歳未満: 無料 *高校生も無料
- ()内は20名以上の団体料金
- 展覧会によって料金が変わる場合があります。

観覧料が免除となる方

Admission Fee Exemptions

- 障がい者手帳をお持ちの方と介助者1名(受付にて手帳をご提示ください。)
- 小中学生が教育課程に基づく教育活動の一環として観覧する場合、その引率者全員(事前申請が必要です。申請方法等については電話でお問合せください。)

ひらやまいくお

平山郁夫作品展

Exhibition Period of Ikuo Hirayama's Works

当館で所蔵する初期の大作3点は、以下の期間に展示されます。一度にすべての作品をご覧いただくことはできません。平山郁夫作品展のみの鑑賞する場合も観覧料が必要です。

4/1-5/6 天山南路(夜)(1960)

5/17-6/22 出現(1962)

7/19-8/31 仏教伝来(1959)

9/13-11/3 天山南路(夜)(1960)

3/14-3/31 出現(1962)